

中央会事業より

円滑な組合運営のための事務局の役割を学ぶ

～組合役職員スキルアップセミナーを開催～

本会では、今年度、組合事務局役職員を対象に、組合の活性化に必要な「組合を円滑に運営するための事務局の役割」や「組合会計・税務に必要な視点」、「組合員との連携を深めるためのコミュニケーション能力の強化」についてスキルアップを図るためのセミナーを5回にわたり開催します。

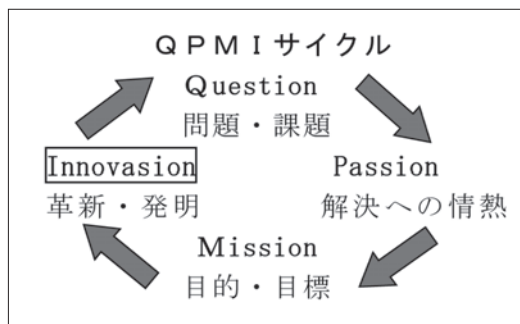
その第1回を8月7日(木)、秋田市の「にぎわい交流館AU」において開催し、「中小企業組合 理事のためのQ&A」を執筆した中小企業診断士の清水透氏より、組合活性化のポイントについて解説していただきました。

清水氏は、「今後の組合組織は、社会課題の解決と企業利益を同時に実現するために共同事業を行い、幸福価値の創造を目指していくべきだ。」と持論を展開し、公的支援や特権を活用するための活動にとどまらず、QPMIサイクル(右図)を通じ、組織の力でイノベーションを実現してもらいたいと述べました。

また、昨年度、本会が取りまとめた組合活性化プランにもあるように、組合員・役員・事務局が三位一体となった関係づくりや、資金管理など組合事務局の役割が多岐にわたることから、次回以降も継続して本セミナーを受講するなど積極的に資質向上に努めてもらいたいとの激励がありました。



【セミナーの様子】



組合活力向上事業を活用して課題解決に取り組む組合を紹介

本会では、今年度、組合活力向上事業を通じ、専門家による集中的な支援を行いながら組合及び組合員が抱えている課題の解決を支援します。本事業を活用し経営力の強化を目指す組合の一例を紹介します。

戻り生コンの発生抑制と再利用 ～秋田県生コンクリート工業組合～

建築現場で使用されずに余剰となった生コンクリート(以下、「戻りコン」という)は、コンクリート製造業者に戻され産業廃棄物として処理されていますが、その発生量は全国的に増加傾向にあり、処理費用が大きな負担となっていることから、秋田県生コンクリート工業組合(村岡兼幸理事長)では、組合活力向上事業を活用し、戻りコンの発生抑制と再利用率を引き上げるための研究を行うこととしました。

7月30日(水)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において第1回研修会を開催し、日本大学理工学部の中田善久教授から、「戻りコンの発生抑制及び有効活用に関する技術について」と題し研修が行われ、組合単位で戻りコンの再生利用に取り組み実績を上げている事例及び再利用のための新技術の紹介が行われたほか、「戻りコンの発生抑制には製造者側の努力だけでなく、施工者側の認識・努力が必要であるため、組合員各社の管理状況を調査し、詳しいデータを整備して対応を進めること」等のアドバイスがありました。

当組合では、組合員の戻りコン管理状況について調査を実施するとともに、第2回では戻りコンの再利用で実績のある県外の組合を招聘し、処理方法や再利用方法等について学ぶこととしています。



【研修会の様子】

接客技術の改善・向上と人材育成 ～協同組合横手やきそば暖簾会～

協同組合横手やきそば暖簾会(伊藤一男理事長)では、B-1グランプリの受賞から5年が経過し、イベントでの売上やコンビニ等からのロイヤリティ収入が年々減少している中で、市民ボランティアによる覆面調査の結果、組合員店舗の接客や接客についての課題を指摘する声が寄せられました。

このため、本会の組合活力向上事業を活用し、接客技術の改善・向上に向けた実践研修を行うこととし、8月7日(木)、よこてシャイニーパレス(横手市)において、社員教育インストラクターの佐藤孝子氏を講師に、接客マナーの基本や顧客を満足させるための方策をテーマとした第1回研修会を開催しました。

佐藤氏からは、「やきそばの風味や味も重要だが、お客様はやきそばを提供するプロセスや提供した後のアフターフォローも含め、感覚や主観で満足度を決めており、満足度が高ければリピートや口コミにつながる。」等のアドバイスを受け、参加した組合員全員で接客の各場面における基本動作の改善点について実践し、お客様の目線に立ったおもてなしとは、もてなす際の心の持ち方や表現の仕方が重要であることを強く認識する研修となりました。

当組合では、組合活力向上事業の実施により、おもてなしの心による接客技術をさらに向上させ、組合員の資質向上や経営力の強化に繋げていくこととしています。



【研修会の様子】

アラカルト ● a la carte ●

■イチゴ栽培施設竣工見学会を開催 ～企業組合美郷ストロベリー～

企業組合美郷ストロベリー(金子嘉伸理事長)では、ハウス栽培によるいちごの生産及び販売を行っていましたが、生産拡大を図るため、秋田県の「農林漁業の6次化拠点施設整備事業」を活用し、仙北郡美郷町で廃校になった小学校のグラウンドを借り上げ、ハウス6棟や管理棟・ボイラーなどの栽培施設を増設し、7月31日(木)、高橋訓之秋田県仙北地域振興局長、高橋一久美郷町商工観光交流課長など関係者25名が参加のもと見学会を開催しました。

ハウスには内張りを施し、冬期間はもみगरaを活用したボイラーで暖めるなど、通年でいちご栽培が可能になり、年間生産量が3倍となることを見込まれています。

当組合では、今後は委託加工による加工品の販売に取り組むなど、6次産業化を順次進めることとしており、金子理事長は、「いちごの生産・加工をはじめ地域資源を活用したアグリビジネスを展開することで、農業所得の向上と雇用創出を図り、農村の活性化に繋がりたい。」と抱負を述べています。



【グラウンドに立ち並ぶハウス】



【いちご栽培ハウスの内部】

■稲庭うどんの実演が見られる観光施設を整備 ～協業組合田沢湖共栄パレス～

協業組合田沢湖共栄パレス(佐藤勇一理事長)では、田沢湖畔でレストラン及び土産物販売店舗を運営しており、敷地内に秋田蕎麦を植栽し、平成18年には秋田三鶏(比内鶏、声良鶏、金八鶏)、平成20年からは国指定天然

記念物・秋田犬を展示飼育するなど、観光スポットとして人気を集めています。

このほど、施設内の一角に湯沢市稲庭町の稲庭古来堂(麻生一社長)の田沢湖工場を誘致し、稲庭うどんの製造工程を見学できるサービスを開始しました。

見学スペースでは、ガラス越しに稲庭うどんの手延べ作業を間近に見ることができるため、お盆の帰省に立ち寄った家族連れ等が早速、熱心にカメラを向けていました。

また、8月12日(火)には、地元行政や観光関連の関係者を集めたお披露目会が開催され、「稲庭うどん」と「田沢湖」という観光資源をうまくつなぎ、田沢湖畔の活性化に結びつけたいという地元関係者の熱意が感じられるお披露目となりました。

なお、試食会では、従来の乾麺タイプと出来たての生麺タイプの稲庭うどん2種類が提供され、食べ比べた参加者からは、「モチモチした食感の生麺とツルツルした食感の乾麺との対比が鮮明で、是非レストランのメニューに加えてほしい。」などの声があり、今後の取り組みが注目されます。



【稲庭うどんの見学スペース】

■畳・イグサの機能を学ぶ講演会を開催

～秋田市畳業協同組合～

秋田市畳業協同組合(金義悦理事長)では、営業手法の研修や若手技能者のための技能研修等を実施し、畳製造技術の向上と畳の受注拡大に取り組んでおり、8月19日(火)、秋田建築労働組合会館(秋田市)において、畳店関係者等54名が出席のもと、北九州市立大学国際環境工学部の森田洋教授を講師に、「住環境における畳・イグサの機能性」と題して講演を開催しました。

森田教授からは、畳表の材料であるイグサの特性について、吸放湿性や吸音性、弾力性、抗菌効果をはじめ、小・中学生が畳敷きの和室とフローリングの両方の部屋で勉強した結果、和室の方が集中力が持続する効果が認められた等の説明があり、「イグサの機能性をもう一度見直すとともに、消費者に畳の機能や効果をPRし、利用拡大につなげてほしい。」と述べられるなど、長年日本人の生活を守り続けてきた畳やイグサの魅力を再発見することができました。

当組合では、今後、本会の支援事業を活用し、特殊畳製作のための技能研修を実施するなど、若手技能者の技術向上を図るとともに、今回得た知識を営業活動に活かしていくこととしています。



【講演会の様子】

支援団体活動レポート

平成26年度通常総会及び研修会を開催 ～秋田県異業種交流倶楽部～

8月7日(木)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県異業種交流倶楽部(齊藤健悦会長)の平成26年度通常総会が開催され、平成25年度の事業報告書及び収支決算書が満場一致で承認されたほか、平成26年度事業計画及び収支予算案などが原案どおり可決決定されました。

また、任期満了による役員改選が行われ、会長に齊藤健悦氏(株式会社アイセス代表取締役)が再選されました。総会に引き続き開催された研修会では、一般財団法人秋田経済研究所の松渕秀和専務理事から、「本県経済

を取り巻く環境変化とこれからの企業経営について」と題して講演が行われ、人口減少や農業施策の転換などの懸念材料がある中で、「本県は農業県と言われながら1次産業の割合が低い。今後は、東北地域で力を入れている輸送機械製造関連産業などが成長していくことが望ましい。」「人口減少による損失をカバーするために、観光客の誘致や定住者の確保に取り組むべきである。」などの方向性が示されました。

秋田県異業種交流倶楽部(会員6団体)では、昨年度に引き続き、会員グループ及び構成員企業相互の交流の環を広げ、異業種交流活動を推進するための研修会及び交流会等を実施することとしています。



【研修会の様子】

新設組合紹介

人財開発協同組合



土門理事長

【組合の紹介・PR】 我が秋田県は、少子高齢化による人口減少に歯止めがかからず、我々中小企業においても人材の確保や育成が経営上の大きな課題となっています。

当組合は、このような課題について共同で解決を図ることを目指すほか、これからの中小企業は多様な連携による経営資源の補完、情報の共有等が重要であると考え、異業種(廃棄物処理業、総合工事業、設備工事業、広告代理業)の4社で設立しました。

当面は、燃料、消耗品の共同購買事業や教育情報提供事業をメインの共同事業として推進することで、組合員の経済的地位の向上や組合員同士の更なる連携を推進します。

また、今後は、制度の改革が議論されている外国人技能実習生受入制度の研究を進めていくこととしております。

【理事長から一言】

私たちは異業種で構成された組合ですが、共同で経営課題の解決に取り組み、経済的負担の軽減を図るとともに、管理職及び従業員の資質向上に寄与することを目指します。

将来的には、外国人技能実習生受入制度を活用するなど、グローバルな視点で組合活動を展開していきたいと考えております。

- 所在地 潟上市昭和久保字北野蓮沼前山 1-48
- 代表理事 土門 里安
- 出資金 400,000 円
- 組合員数 4 名
- 主な事業 共同購買、教育及び情報の提供
- 成立年月日 平成 26 年 8 月 1 日

インフォメーション

「エネルギー使用合理化等事業者支援事業(小規模事業者実証分)」のご案内 (中小企業庁)

中小企業庁では、小規模事業者による省エネルギー性能の高い機器・設備の導入経費の一部を補助することで、小規模事業者における省エネルギー効果を検証・実証することを目的とした「エネルギー使用合理化等事業者支援事業(小規模事業者実証分)」に係る補助対象者を募集しています。

【対象者】 製造業等その他の業種：従業員20人以下
商業・サービス業：従業員5人以下

【限度額】 50万円以内(補助対象経費の3分の1以内)

【募集期限】 平成26年9月19日(金)

【お問い合わせ先】

エネルギー使用合理化等事業者支援事業(小規模事業者実証分)事務局(環境経済株式会社)

①事業に関すること ☎03-6228-6851 ②申請に関すること ☎03-6228-7342

「一般事業主行動計画」を策定しましょう

「一般事業主行動計画」は、仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や子育てをしていない労働者も含めた多様な労働環境を整備するため、①計画期間、②目標、③目標を達成するための対策及び時期を定めるものです。

「次世代育成支援対策推進法」では、101人以上の労働者を雇用する事業主に対し、「一般事業主行動計画」の策定と届出を義務づけているほか、雇用する労働者が100人以下の事業主についても、同様の努力義務があるとされています。

「一般事業主行動計画」の届出や認定の手続きについては、秋田労働局雇用均等室にお問い合わせください。(☎018-862-6684)

【一般事業主行動計画策定に取り組む企業に対する県の支援】

(1)次世代育成サポートアドバイザー派遣事業

一般事業主行動計画を策定したり、両立支援に関する企業内研修を開催しようとする企業に対して、専門アドバイザーを無料で派遣します。

(2)少子化対策応援ファンド助成事業(仕事と育児・家庭の両立支援コース)

従業員の生活環境やニーズなどを踏まえ、自社の実情に応じた仕事と育児・家庭の両立支援に取り組む企業へ助成します。

【お問い合わせ先】 秋田県企画振興部少子化対策局(☎018-860-1248)



組合ティールーム 秋田市中小企業従業員共同宿舍協同組合

理事長 佐野 元彦さん

○業界の現状について

当組合は、秋田市の中小企業で働く女子従業員には周辺市町村の出身者が多かったことから、福利厚生の一環として共同宿舍を建設するため、昭和41年に秋田市中小企業女子従業員共同宿舍協同組合として設立され、主として施設の設置や維持管理事業を共同で行ってきました。

これまで多くの女子従業員からご利用いただけてきましたが、マイカーによる自宅通勤者の増加や、企業の採用手控え等もあり入居率が低迷したため、平成18年に男子従業員も入居できるように定款変更を行い、名称も秋田市中小企業従業員共同宿舍協同組合に変更しました。現在、全58室のうち稼働しているのは31室(そのうちの約6割を男子が利用)という状況で、新規加入の促進と入居者の確保に努めているところです。

○理事長としての抱負

県外企業が採用拡大に動いており、本県の中小企業において優秀な人材の確保が課題となっている中で、「社員寮完備」という条件が有利に働くと思われるため、企業に対し「共同宿舍を運営している組合がある」ということを積極的にPRしていきたいです。

将来的には、共同事業として企業内保育園の運営にも取り組みたいと考えています。

○座右の銘について(普段心がけていること)

上杉鷹山の言葉で「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」です。

企業経営において目指すビジョンがあるとき、社員の方々と一緒に目標達成に向かって努力しますが、その場合に、明確な目標を設定することと、「なぜ、やるのか」ということを丁寧に説明し、納得して協力してもらおうよう心がけています。

○趣味について

人と交流するのが好きで様々な会合に参加しています。特に、世話役として企画や事務作業に携わるのが楽しく感じられ、これまでもいろいろ引き受けてきました。現在は、プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」の運営に携わっており、ハピネッツが趣味になっています。

